

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【公開番号】特開2019-30755(P2019-30755A)

【公開日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-008

【出願番号】特願2018-221957(P2018-221957)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月22日(2019.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域と、

前記遊技領域に向けて、遊技者の発射操作に応じて所定の発射間隔で遊技球を発射可能な発射手段と、

利益を付与する利益付与手段と、

閉鎖状態と開放状態とに変化可能な可変入賞手段と、

前記可変入賞手段に入球した遊技球が通過することによって特別利益を付与することができる特定領域と、

を備え、

前記可変入賞手段は、

前記利益付与手段により前記利益が付与された場合、前記所定の発射間隔よりも短い期間において前記開放状態に変化させた後に前記所定の発射間隔よりも長い期間において前記閉鎖状態へ変化させる様式を複数回実行する特殊開放様式を実行可能であり、

前記特殊開放様式を実行した場合、一回の前記利益において前記可変入賞手段に予め定められている最大入賞数の遊技球を入球させることができ、

前記特殊開放様式を実行することによって前記特定領域へ遊技球を通過させて前記特別利益を付与する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するために、本願発明は、

遊技球が流下可能な遊技領域と、

前記遊技領域に向けて、遊技者の発射操作に応じて所定の発射間隔で遊技球を発射可能な発射手段と、

利益を付与する利益付与手段と、

閉鎖状態と開放状態とに変化可能な可変入賞手段と、
前記可変入賞手段に入球した遊技球が通過することによって特別利益を付与するこ
可能な特定領域と、
を備え、

前記可変入賞手段は、

前記利益付与手段により前記利益が付与された場合、前記所定の発射間隔よりも短い期
間において前記開放状態に変化させた後に前記所定の発射間隔よりも長い期間において前
記閉鎖状態へ変化させる様式を複数回実行する特殊開放様式を実行可能であり、

前記特殊開放様式を実行した場合、一回の前記利益において前記可変入賞手段に予め定
められている最大入賞数の遊技球を入球させることができあり、

前記特殊開放様式を実行することによって前記特定領域へ遊技球を通過させて前記特別
利益を付与する

ことを特徴とする遊技機。

また、上記発明とは別に以下の手段を採用してもよい。

手段 1：所定の遊技条件が満たされたときに賞が獲得可能とされる遊技機であって、
遊技領域に対して所定時間毎に遊技媒体が順次打ち込まれるように発射可能な発射手段
と、

前記遊技領域のうち特定の転動領域内にある遊技媒体の受け入れを許容する第1状態と、
該遊技媒体の受け入れを許容しない第2状態との間で動作可能な入賞口手段と、

前記特定の転動領域内における遊技媒体の転動方向の長さをL、前記発射手段による遊
技媒体の発射間隔の時間をTとし、且つ前記発射手段によって「T」の時間間隔で前記遊
技領域に打ち込まれたN個の遊技媒体の全てが前記特定の転動領域へと供給されたとする
とき、前記特定の転動領域でのそれら遊技媒体の平均速度が「L / 2T」未満となるよう
に前記遊技領域に打ち込まれたN個の遊技媒体とそれぞれ関わり合う構造体として形成さ
れてなる特殊構造体手段と

を備え、

前記特定の転動領域を転動するように前記「2T」よりも長い時間にわたって遊技媒体
が打ち込まれている場合に前記第2状態にされている前記入賞口手段が前記第1状態に動
作すると、該第1状態に動作した際に複数の遊技媒体の受け入れを可能とした

ことを特徴とする遊技機。